

教えて、町長さん!! Q&A



菅谷小学校6年生
さき あやめ
佐々木 尊さん

町の未来を担う小学生から高校生の皆さんの素朴な疑問や聞いてみたいこと、町長への率直な意見を募集しています。

質問が採用された方には広報紙限定缶バッジをプレゼントします。



▲町ホームページ



▲募集フォーム

町長はいつ頃から、政治に興味を持ったの？

質問ありがとう！多感な中学生の時にベルリンの壁が崩壊したり、中国で天安門事件が起こったりして、世界を平和にしたいと思ったからだよ。



問 秘書政策課 秘書広報係 ☎767-2112



町長コラム

ベア・パル

あのこは貴族



今夏の甲子園では、宮城、岩手、福島代表がそれぞれ勝ち抜き、一昔前の東北は野球後進地という言葉が死語になっていることを実感しました。

私の関心はもう一つあって秋田代表横手高校の出場でした。県知事や市長も輩出する名門校ですが、57年ぶりの甲子園ということにも驚きました。初戦で敗退でしたが、思わぬ余波がありました。進学校でもある同校を「旧帝大10人は進学校ではない」等、宿泊先でも自習する姿を揶揄した騒動がありました。早慶、MARCHだとか日東駒専、関関同立等、私学に対する進学率の低さも話題に上がりました。

東京の私立の学校出身または通われる方々には進学に対する地方の実情や経済状態や国立志向の現状を把握していないのかもしれないと思いますが、投げられた言葉のひどさに驚きを隠せません。そこで思い返されるのが2023年の甲子園決勝戦、育英学園対慶應高校の試合です。ルールを無視したような慶應側の応援のすさまじさを記憶されている方も多いのではないかと思います。まさしく山内マリコ著『あのこは貴族』を彷彿とさせる景色で驚きました。

榛原華子は東京の松濤に生まれ育ち、周囲は裕福な子弟。親族には医者や経営者に溢れ、軽井沢の別荘で過ごした幼少期を共通の話題として、自分たちと同じ「世界」の人々と付き合い、結

婚し、家庭を整えて行きます。彼女は結婚適齢期、幼稚園から慶應に通い、代々政治家を輩出している家系の弁護士青木幸一郎と知り合い結婚。幸一郎の学生時代からの友人で地方出身の、慶應の学生生活に経済的な格差のため、なじめず中退し、自立した道を東京で歩んでいる恋敵などが現れ、まだまだ物語は続きますが、家柄とか旧華族とか身に着けているアクセサリや付属品、学歴や職業が詳細に描かれていて大変興味深く現代の「貴族」たちの様子を読みました。地元の名士や篤志家などは一切登場せず、地方の融解と東京の浮上が際立って描かれています。

高校の予備校化が批判されて久しいですが、進学実績のみで人間の成長や人格を測定できるわけではありません。むしろ人間の可能性を成績や学力でキャップしてしまうことは危険だと感じています。学歴が「貴族」の入り口であってはならないし、もしかして若者が時折訴える「生きづらさ」の要因の一つかもしれません。

10月は利府町でしか味わえない梨まつり、産業祭、ラリー大会、うまうま祭等、地方の醍醐味を前面に押し出し、のびのびとしたイベントが盛りだくさんです。文武両道で頑張った球児たちの健闘を称えつつ、身近な秋を楽しみましょう。

ゆたか

利府町長 熊谷 大

8月25日(火) 企業の皆さんに利府町をPR



東京都中央区日本橋で開催された「宮城県企業立地セミナー in Tokyo」に参加し、104社188人の企業関係者に利府町の交通アクセスや立地環境、まちの魅力などを紹介しました。企業の皆さんに本町を知っていただき、今後の企業誘致につなげる貴重な機会となりました。

町制施行60周年記念ロゴマークのデザインを募集しています

利府町は、令和9年10月1日に町制施行60周年を迎えます。それを記念してロゴデザインを募集します。

詳しくは、町ホームページをご覧ください。

●応募締切 10月16日(金)
午後4時まで



問 秘書政策課 政策係 ☎767-2115

8月28日(金) 行革甲子園2026 上下水道革新大賞を受賞しました



愛媛県主催の市区町村の創意工夫あふれる取組を発表する大会「行革甲子園2026」において、「利府町上下水道事業包括的民間委託」の取組事例を発表し、見事「上下水道革新大賞」を受賞しました。今年度は全国から89事例の応募があった中、書類審査を通過した6団体によるプレゼンテーションが行われ、学識経験者・有識者・愛媛県知事による厳正な審査のもと、各賞が決定しました。